



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7532 URL <https://ppih.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員CAO (氏名) 石井 祐司

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	509,329	7.5	32,886	37.8	36,062	25.7	24,609	33.4
2023年6月期第1四半期	473,694	6.3	23,870	48.4	28,685	74.2	18,449	48.8

(注)包括利益 2024年6月期第1四半期 30,143百万円 (22.0%) 2023年6月期第1四半期 24,702百万円 (105.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	41.25	41.13
2023年6月期第1四半期	30.94	30.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,491,602	484,421	31.8
2023年6月期	1,481,058	463,539	30.6

(参考)自己資本 2024年6月期第1四半期 473,665百万円 2023年6月期 453,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	4.00	—	16.00	20.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	5.00	—	16.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,031,800	5.5	58,900	2.5	56,000	△2.1	35,000	△4.8	58.67
通期	2,062,100	6.5	111,000	5.5	107,400	△3.2	66,700	0.8	111.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期1Q	634,734,240 株	2023年6月期	634,666,240 株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	38,073,224 株	2023年6月期	38,073,224 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期1Q	596,625,538 株	2023年6月期1Q	596,333,503 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年11月10日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年7月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復しておりますが、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れリスクや急激な為替相場の変動等により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、エネルギー価格や原材料価格が高止まりしており、食品・生活必需品等の値上げが続く状況においては、消費者の生活防衛意識が一層高まっており、経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、このような厳しい状況においても、競合他社との差別化要因である現場主義・個店主義に立脚した強みを遺憾なく発揮して、積極的な営業戦略に基づく「攻めの経営」を推進しました。

中期経営計画における重点施策の1つであるPB/OEM商品については、引き続き認知度の向上、販売体制の強化に加え、前連結会計年度に実施したディスカウント事業とGMS事業におけるMD本部の統合での取り組みを強化したことにより、GMS事業において商品数が増えたことが売上増に貢献しました。

免税売上については、販売体制の強化やレジなどインフラ環境の整備を強化したことで、コロナ前に対する訪日旅行者数の回復以上に、免税売上を伸ばすことができました。商品ではコロナ禍前に好調だった化粧品などの日用消耗品カテゴリが伸長しました。

また、2023年8月に東京渋谷の文化村通りに大型複合施設の「道玄坂通 dogenzaka-dori」を開通（オープン）しました。当該施設は、坂の上に立地しており、高さ115mを誇る渋谷の新たなランドマークとして、ショップ・オフィス・ホテルという3つの機能により構成されており、文化村通りと道玄坂小路の2つの通りに面して4つの出入口を設け、施設内を通り抜けられる新たな「道」を拓きました。

「道玄坂通 dogenzaka-dori」の開通（オープン）と同時に、同施設内に当社グループの新業態となる「ドミセ」の第1号店「ドミセ 渋谷道玄坂通ドードー店」をオープンしました。新業態となる「ドミセ」はドを超えた驚きが集まる「おどろき専門店」をコンセプトとしており、ドン・キホーテのプライベートブランドである「情熱価格」の中でも、選りすぐりの商品がズラリと並ぶ、驚きが集まった店舗となっております。

当第1四半期連結累計期間の国内事業の退店状況につきましては、関東地方に1店舗（東京都ードミセ渋谷道玄坂通ドードー店）、近畿地方に1店舗（大阪府一同アリオ八尾店）、四国地方に1店舗（香川県ードン・キホーテ高松丸亀町店）を開店しております。法人別内訳は、株式会社ドン・キホーテ3店舗となりました。

海外事業の出店状況につきましては、シンガポール共和国に1店舗（DON DON DONKI Paya Lebar Quarter店）、香港に1店舗（同Plaza Hollywood店）、マレーシアに1店舗（JONETZ by DON DON DONKI IOI City Mall 2店）を開店しております。

その一方で、国内4店舗、海外1店舗を閉店しております。

この結果、2023年9月末時点における当社グループの総店舗数は、国内616店舗、海外103店舗の合計719店舗（2023年6月末時点 718店舗）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間の期首より、店舗数の集計方法を変更しており、2023年6月末時点の店舗数については、変更後の集計方法に組み替えて表示しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、以下の通りとなりました。

売上高	5,093億29百万円	（前年同期比	7.5%増）
営業利益	328億86百万円	（前年同期比	37.8%増）
経常利益	360億62百万円	（前年同期比	25.7%増）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	246億9百万円	（前年同期比	33.4%増）

セグメントの業績については、次の通りです。

(国内事業)

国内事業における売上高は4,315億11百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は316億57百万円（同46.8%増）となりました。国内事業においては、訪日外国人観光客の増加により、免税売上がコロナ前の実績を超えたことや、イベント需要の回復等により、既存店売上高成長率は8.0%増となったことから、売上高及び営業利益は増加しております。

(北米事業)

北米事業における売上高は582億30百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は11億57百万円（同33.5%減）となりました。北米事業においては、金融引締めに伴う円安進行により、売上高は増加となりましたが、物価上昇によるコストの増加等により販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は減少しております。

(アジア事業)

アジア事業における売上高は195億87百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は72百万円（同87.3%減）となりました。アジア事業においては内食需要の低迷及び物価上昇による買い控え、新規出店による販売費及び一般管理費などの増加により、売上高及び営業利益は減少しております。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円未満四捨五入)

	2023年6月前期末	2023年9月当四半期末	増減額
資産合計	1,481,058	1,491,602	10,544
負債合計	1,017,519	1,007,181	△10,338
純資産合計	463,539	484,421	20,882

1. 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（2023年9月30日）における財政状態において、総資産は前連結会計年度末（2023年6月30日）と比較し、105億44百万円増加して、1兆4,916億2百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が18億75百万円、預け金が30億40百万円、有形固定資産が74億60百万円増加した一方で、割賦売掛金が18億36百万円、商品及び製品が47億6百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、103億38百万円減少して、1兆71億81百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が211億15百万円、預り金が65億65百万円増加した一方で、未払金が52億9百万円、未払費用が26億8百万円、未払法人税等が135億90百万円、契約負債が28億86百万円、借入金が161億44百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、208億82百万円増加して、4,844億21百万円となりました。これは主として、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加が150億63百万円、その他の包括利益累計額の為替換算調整勘定が52億76百万円増加したことによります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して17億24百万円増加して、2,479億19百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、410億16百万円（前年同期比213億39百万円増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益357億63百万円、減価償却費108億37百万円、棚卸資産の減少61億80百万円及び仕入債務の増加198億93百万円といった増加要因があった一方、為替差益の計上30億54百万円及び法人税等の支払額210億35百万円という減少要因によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、171億88百万円（前年同期比80億88百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出150億94百万円及び無形固定資産の取得による支出18億4百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、273億78百万円（前年同期比51億10百万円増）となりました。これは主として長期借入金の返済による支出166億4百万円及び配当金の支払額95億45百万円があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月16日付の「2023年6月期 決算短信」で公表しました2024年6月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想及び通期の連結業績予想に変更はありません。なお、当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与える重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	242,088	240,752
受取手形及び売掛金	13,782	15,657
割賦売掛金	55,350	53,514
営業貸付金	9,047	9,208
商品及び製品	194,537	189,831
前払費用	8,629	8,911
預け金	5,357	8,397
その他	25,541	30,290
貸倒引当金	△2,496	△2,694
流動資産合計	551,836	553,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	287,975	287,131
工具、器具及び備品（純額）	35,027	35,616
土地	318,721	319,867
建設仮勘定	15,532	20,705
使用権資産（純額）	30,561	31,903
その他（純額）	1,393	1,447
有形固定資産合計	689,209	696,669
無形固定資産		
のれん	61,002	62,345
その他	27,528	28,500
無形固定資産合計	88,530	90,845
投資その他の資産		
投資有価証券	34,643	34,615
長期前払費用	4,370	4,381
退職給付に係る資産	17,806	17,824
繰延税金資産	20,686	19,552
敷金及び保証金	71,845	71,584
その他	3,476	3,669
貸倒引当金	△1,342	△1,405
投資その他の資産合計	151,484	150,221
固定資産合計	929,222	937,735
資産合計	1,481,058	1,491,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,661	189,776
1年内返済予定の長期借入金	34,364	22,548
1年内償還予定の社債	10,930	150,750
未払金	49,475	44,266
リース債務	2,263	2,475
未払費用	26,991	24,383
預り金	14,012	20,577
未払法人税等	23,169	9,579
ポイント引当金	1,962	2,299
契約負債	20,838	17,952
その他	15,756	17,202
流動負債合計	368,422	501,807
固定負債		
社債	261,625	121,300
長期借入金	272,499	268,171
リース債務	31,036	32,336
資産除去債務	30,835	31,029
その他	53,101	52,538
固定負債合計	649,097	505,375
負債合計	1,017,519	1,007,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,351	23,383
資本剰余金	17,509	17,541
利益剰余金	483,366	498,429
自己株式	△80,956	△80,956
株主資本合計	443,270	458,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,690	1,727
為替換算調整勘定	7,797	13,073
退職給付に係る調整累計額	503	469
その他の包括利益累計額合計	9,991	15,269
新株予約権	771	1,004
非支配株主持分	9,507	9,751
純資産合計	463,539	484,421
負債純資産合計	1,481,058	1,491,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	473,694	509,329
売上原価	329,417	351,106
売上総利益	144,277	158,223
販売費及び一般管理費	120,407	125,337
営業利益	23,870	32,886
営業外収益		
受取利息及び配当金	340	473
持分法による投資利益	150	243
為替差益	5,594	3,054
その他	857	1,862
営業外収益合計	6,940	5,632
営業外費用		
支払利息	1,952	1,993
その他	173	463
営業外費用合計	2,125	2,456
経常利益	28,685	36,062
特別利益		
固定資産売却益	4	2
環境対策引当金戻入額	3	-
その他	3	0
特別利益合計	10	3
特別損失		
固定資産除却損	196	192
店舗閉鎖損失	-	102
災害による損失	21	3
その他	1	5
特別損失合計	218	302
税金等調整前四半期純利益	28,477	35,763
法人税、住民税及び事業税	7,157	9,756
法人税等調整額	2,346	1,210
法人税等	9,503	10,966
四半期純利益	18,973	24,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	525	189
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,449	24,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	18,973	24,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△239
為替換算調整勘定	5,862	5,592
退職給付に係る調整額	△10	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	15
その他の包括利益合計	5,728	5,345
四半期包括利益	24,702	30,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,125	29,887
非支配株主に係る四半期包括利益	577	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,477	35,763
減価償却費	10,170	10,837
引当金の増減額 (△は減少)	△1,776	52
受取利息及び受取配当金	△340	△473
支払利息及び社債利息	1,952	1,993
為替差損益 (△は益)	△5,594	△3,054
持分法による投資損益 (△は益)	△150	△243
固定資産除売却損益 (△は益)	192	189
売上債権の増減額 (△は増加)	△991	△1,791
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,045	6,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,158	19,893
割賦売掛金の増減額 (△は増加)	△2,004	1,793
未払金の増減額 (△は減少)	△2,465	△310
その他	△5,793	△7,601
小計	32,882	63,228
利息及び配当金の受取額	437	407
利息の支払額	△1,578	△1,579
法人税等の支払額	△12,023	△21,035
災害損失の支払額	△41	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,677	41,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,921	△15,094
無形固定資産の取得による支出	△2,367	△1,804
関係会社株式の取得による支出	△3,386	-
敷金及び保証金の差入による支出	△369	△77
敷金及び保証金の回収による収入	40	212
出店仮勘定の差入による支出	△258	△428
その他	△16	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,276	△17,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	976	-
長期借入金の返済による支出	△11,484	△16,604
社債の償還による支出	△776	△505
配当金の支払額	△8,348	△9,545
株式の発行による収入	67	63
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,239	-
その他	△463	△787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,268	△27,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,547	5,274
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,320	1,724
現金及び現金同等物の期首残高	180,418	246,195
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,852	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	160,246	247,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	北米事業	アジア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	398,294	55,665	19,735	473,694	—	473,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,429	—	18	2,447	△2,447	—
計	400,723	55,665	19,752	476,141	△2,447	473,694
セグメント利益	21,563	1,741	565	23,870	—	23,870

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	北米事業	アジア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	431,511	58,230	19,587	509,329	—	509,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,750	—	30	2,780	△2,780	—
計	434,261	58,230	19,617	512,109	△2,780	509,329
セグメント利益	31,657	1,157	72	32,886	—	32,886

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。